



## 新しい研究に向けて

前号でもお知らせしましたとおり、本校では、これまで「思考の活性化による認識の深まり」をテーマに研究を進めてきました。今は、研究部長の阿久津先生を中心に新しい研究の方向性について考えています。新学習指導要領の全面実施に向け、本校で学ぶ子供たちのため、これから教員を目指す学生のため、共によりよい教育の在り方を模索する公立学校の先生方のために、大学や教育委員会と連携をとっていきたいと思います。

さて、「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議」（以下、「有識者会議」というものをご存じですか？「有識者会議」では、大学のみならず、附属学校の改革も求めています。今のところ、以下のようなことが改革のポイントとしてあがっています。

公立学校が抱えている教育課題の解決の手立てとなるように、「公立学校のモデル校」としての役割を強めること

公立学校教員の日常的な研修の場となるなど、大学・教育委員会と連携した「教員研修学校」の役割を強めること

大学の知見を生かして、将来の学校教育や学習支援等に応用することを見越した先進的な教育研究に努めること

附属学校が教職大学院の実習の場となるなど、教職大学院と附属学校の連携や一体化を強めること

学校運営に地域住民や保護者等の参画が今まで以上に得られる仕組みの導入を図ること

研究成果のより積極的な提供や公立学校への還元を図る方法を工夫すること

勤務時間管理や業務改善に努めるなど、働き方改革を進めること

等、

「有識者会議」の議論の取りまとめが、この8月から9月に出される予定になっています。こちらの方も、これから本校が進むべき道に関係してくることが予想されます。保護者の皆様も、心にとめておいてください。



## 教育実習の事前指導を行いました

今年度は、9月1日（金）～22日（金）の15日間、3年次生23名、2年次生18名、計41名の学生が本校で教育実習を受けます。9月の教育実習に先立ち、19日（水）に事前指導を行いました。

まず、3年次生と2年次生に分かれ、実習部の鷲北先生と屋鋪先生が「教育実習の心得と服務」「実習上の注意事項」「授業観察の仕方」「学習指導案の書き方」等を指導しました。いくら学生であっても、子供に

にとっては、私たちと同じ教師になります。1時間の授業を行うことや子供と接することなど、責任の重さが少し分かったことと思います。

その後、配属学級ごとに分かれて、授業分担や学級の約束等、細かいことを担当の先生と打ち合わせました。

どの学生も、真剣に話を聞いている姿が印象的でした。今年度は、どんなドラマが見られるのでしょうか。



【事前指導に耳を傾ける学生】



## 欠席0の日

5月24日付けの学校だよりで、「欠席0の日を願っています」と書いたことを覚えていらっしゃいますか。7月7日、通院遅刻の子供が2名いたものの、今年度初めて、420名の子供が附属小学校にそろいました。（実は、研究発表会の日も欠席は0だったのですが、在校時間がわずかであったので、カウントしないこととします）夏休み明けには、欠席0の日がもっとももっと増えることを期待しています。



## 明日から、夏休みに入ります

前期の前半が今日で終わり、明日から夏休みに入ります。保護者の皆様には、4月以来、学校運営に対して多大なご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、大きな事故やけがもなく過ごすことができました。

明日からの夏休み、もうすでに楽しい計画が立てられていることと思います。どうぞ、有意義な夏休みを過ごしていただき、8月29日（火）には、元気に前期の後半をスタートできることを楽しみにしています。

（副校長 曲 師 政 隆）